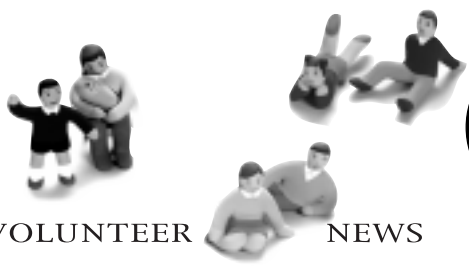


市民活動・ボランティア

ニュース



2004年 1 月号
平成15年12月25日発行
通巻61号

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

特集

第1回MPドリーム助成金の贈呈式 三重県遊技業福祉連合会の英断

応援します！
あなたのボランティア。

三重県遊技業福祉連合会は、「地域の皆さんに愛される業界を目指して、同じく地域で頑張るボランティア・市民活動団体への助成制度」を創設されました。これにより、平成15年12月3日に贈呈式が行われ、県内の様々な分野の37団体に総額1,400万円の助成金が交付されました。これ程の規模は、県レベルのボランティア・市民活動団体を助成先とした民間の助成金としては、全国的にも珍しい例です。

会場には、野呂知事も姿をみせ、新しい公を担う多くのボランティア・市民活動団体に助成していただいたことに感謝の意が述べられました。

各プレゼンテーションでは、6団体が発表し、普段の活動と今後の事業展開について熱弁をふるいました。また、目録授与の際には、そば打ち、権我節(かいがらばし)保存会は自慢の衣装に身を包み、会場をどよめかせました。各団体を代表してNPO法人三重にフリースクールを作る会の石山さんから、謝辞とパチンコの玉をあしらった桶がおくられると会場は大変暖かい雰囲気包まれ、今後の市民活動がますます盛んになることを予感させました。最後に山下理事長が、皆さんの喜んでる顔をみることが嬉しいと閉会の辞を述べられると大きな拍手が送られ、閉会後も記念写真をとる団体もありすばらしい第1回贈呈式が終了しました。今後の各団体の活動に是非期待したいとおもいます。さて、この事業は、本年度以降も継続して行われますので、今回申請されなかった団体は是非応募してみたいはいかがでしょうか。(本年6月くらいに募集が始まる予定です)



山下理事長

発行
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPOチームのホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動ニュースはこちらにあります！

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバース3階)/オールウェイズ(津センターバース1階)/津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)/(有)デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2)/鳥羽NPOネットワークセンター(総/鳥羽市鳥羽1-3-8)/市民活動共同センター(桑名市中央1-8 東和ビル内)/四日市市市民活動センター(四日市市蔵町4-17)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウィリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(上野市小玉町3045-1)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/上野市中央公民館/上野市立図書館/上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務所/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬の上944-5)/松阪大学(松阪市久保町1846)

【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会

【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店

【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局)桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県女性センター/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

アスト de プロデューサー 2 土井内静代

「どこでもインフォ」機能のご紹介！

みえ市民活動ボランティアセンターのホームページ(<http://www.mienpo.net/center/>)に、新しく“どこでもインフォ”の機能が追加されました。この機能はスキャナーでチラシ情報を取り込み、インターネットを使ってそのまま閲覧できるシステムです。情報を欲しいけれども、アストは遠くて来れないという方にどんどん利用していただきたいと思います。

今後は貸出し図書やビデオ等も広く紹介していきますので、是非活用してください。いま、まちのたよりのコーナーでは、上野のウィリアム テルズ・アップルまちづくりセンターの中盛なぎさんがいろいろなおもしろいイベント情報を四コママンガと一緒に連載中です。こちらもあわせてご愛読ください。

紹介したいチラシがあれば、市民プロデューサーまで送ってくださいね。

ボランティアコーディネーターってなんだ?? 7 野村希代

みなさん、ボランティアや市民活動に関する記念日や週間があるのをご存知ですか？

12月には国連が定める「国際ボランティア・デー」(5日)や、広がれボランティアの輪連絡協議会が提唱する「ボランティア・ウィーク」(1日～7日)がありました。そのボランティア・ウィーク期間中に開催されたイベントで、当日のボランティアコーディネートを担当しました。途中で「あの人は別の係の方が良かったかな」と思われる部分があったり、それぞれの部署の責任者から活動内容がうまく伝わっていなかったり、多くの反省点が残りました。イベントでのボランティアコーディネートは、普段の業務よりも、その場での判断力、決断力そして行動力などが求められるんですね。

間もなく、1月17日の「防災とボランティアの日」、1月15日～21日の「防災とボランティア週間」を迎えます。災害時のボランティアコーディネート経験のある方がおっしゃっていました。「災害時のコーディネートは、イベントでのボランティアコーディネートと共通する点が多い」と。その言葉に納得!普段の生活の中でもそういった能力を養えるよう、意識してみようと思いました。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

イベントスケジュール

「あのつ画廊」オープン記念展

横田千鶴子83歳を慕ひ 市松人形・陶芸・俳画展

とき / 平成16年1月15日(木) ~
18日(日) AM10:00 ~ PM5:00

ところ / あのつ画廊
(津市大門 オーデン大門ビル2階)

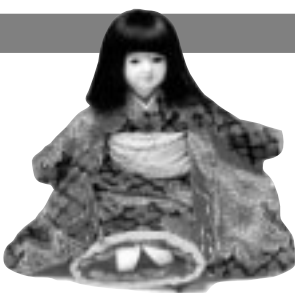
内容 / 大正9年生まれ、横田千鶴子さんが20年前から手がけている市松人形、俳画、陶芸をまとめて、初めての個展を開催します。

【個展・グループ展をやってみませんか!】

あのつ画廊は津のまちを文化事業で元気にしようというボランティア団体「あのつ文化研究所」が運営しています。現在、初めて個展を開催する方への支援を行っています。作品の搬入・搬出、展示、受付、PRなど、ボランティアがお手伝いします。

問い合わせ先 / あのつ文化研究所事務局

Tel.059-228-8188



市松人形。

県民講座 UDのまちづくりシリーズ

「市民活動のUD(ユニバーサルデザイン)」

とき / 平成16年1月17日(土) PM1:30 ~ PM4:30

ところ / 皇學館大学名張学舎1号館1階中講義室(1102教室)
(名張市春日丘7番町1番地0)

名張駅(近鉄)東口から、つつじが丘行バスに乗りし、皇學館大学前にて下車(約8分)。スクールバスも運行(無料))

参加費 / 無料

内容 / 三重県では、障害の有無や年齢、国籍などにかかわらず、だれもが自由に社会参加できるまちづくり=ユニバーサルデザインのまちづくりを進めています。今回はアクセシブル盛岡代表の石川紀文さんに「市民が進めるユニバーサルデザインのまちづくり」と題して、ユニバーサルデザインのまちづくりを進めるための、市民活動の展開方法、行政との協働手法などについて、講演いただきます。

申込方法 / 申込書を郵送、Faxで送付するか、必要事項を電話、E-mailで下記まで。また、三重県電子申請・届出システム(<http://www.shinsei.pref.mie.jp/>)からも申込みます。(システムの場合は、平成16年1月13日申込締切)

申込・問い合わせ先 / 514-8570(住所記載不要)

津市広明町13 健康福祉部ユニバーサルデザインチーム

Tel.059-224-3349 Fax.059-224-2340

E-mail ud@pref.mie.jp

ホームページ <http://www.pref.mie.jp/ud/hp/>

歴史作家 横山高治先生の新春講演会

とき / 平成16年1月17日(土) PM1:30 ~

ところ / アスト津4階研修室A (津市羽所町700)

参加費 / 無料

内容 / 「藤堂高虎」や「伊勢平氏の系譜」などの歴史作家として著名な横山高治さんを招いて「藤堂高虎の伊勢・伊賀入府四百年」と題した講演を行います。

問い合わせ先 / ときめき高虎会(担当:鈴木)

Tel.059-229-4173

マスターしよう! NPO会計 第5回

とき / 平成16年1月18日(日) AM10:00 ~ PM4:00

ところ / アスト津4階 研修室A

内容 / 7月からシリーズで開催してきました会計講座もいよいよ最終回です。税務、決算、減免、労務、改正消費税…。何が違って、それがどう影響するのか。税理士の恒川貴光さんと地域地域づくり考房みなと理事の辻本晴美さんにお聞きします。決算期が到来する団体の方、確定申告をする団体の方、準備OKですか?次に備えて実務を体験してみたい方、ご参加お待ちしております。

申込・問い合わせ先 / 四日市市日永1-3-21-303

(特)地域づくり考房 みなと Tel.0593-46-4581

Fax.0593-50-0201 携帯 090-1566-8921

E-mail kobominato@yahoo.co.jp

科学技術振興センター テクノカレッジ 「第4回なるほど・なっとくセミナー」

とき / 平成16年1月24日(土) PM1:30 ~ PM3:30

ところ / アスト津3階イベント情報コーナー(津市羽所町700)

参加費 / 無料(事前予約不要)

内容 / 科学技術振興センターが日頃取り組んでいる研究内容や科学技術について、県民の皆さんにわかりやすく解説します。今回は「いろいろな『健康』を考えてみよう」を主題とし、「健康寿命を考えよう」「車イスの種類と役割」「新しいお米の作り方」の3つを取り上げて、皆さんに紹介します。詳しくはホームページを。

主催・問い合わせ先 / 四日市市桜町3690-1(鈴鹿山麓研究学園都市センター内) 三重県科学技術振興センター総合研究企画部 研究評価グループ Tel.0593-29-3623

(当日Tel.090-7954-2664) Fax.0593-29-8017

ホームページ <http://www.mpstpc.pref.mie.jp/>



『津の街再発見……防災ウォッチング』

とき / 平成16年1月24日(土) AM10:00 ~ PM3:30

ところ / 津市市民活動センター3階(津市大門センターバレス内)

参加費 / 500円

内容 / 防災という視点から町を歩き、普段は気に留めない『災害発生時の安全』を発見します。午前中は、街なかウォッチングです。少人数のグループに別れ、それぞれのグループに「レンズ付きフィルム」貸与します。津センターバレスを出発し、消防署などを見学しながら、自分の住む街を見て回ります。希望する人には、車イスや高齢者体験グッズを使用してもらい、身体にハンディキャップを持った人の避難を疑似体験してもらうことも考えています。



平成15年9月に開催した防災ウォッチングで壁新聞を作る参加者。

申込締切 / 1月20日(火) 50人になれば締切ます)

問い合わせ・申込 / 萩野 Tel.059-225-1837

E-mail hagino@mint.or.jp

主催 / 津市ボランティア連絡協議会 後援 / 津市

第5回佐々木正美先生講演会 「子育てにおいて大切な事」

———自閉症スペクトラム障害の子供達を中心として

とき / 平成16年1月25日(日) 受付AM9:30

講演AM10:00 ~ PM3:45

ところ / 伊勢市観光文化会館4階大会議室

(伊勢市岩淵1-13-15 Tel.0596-28-5105)

参加費 / 前売2000円 当日2200円

内容 / 自閉症スペクトラム障害の中でも、親から見て子どもの特徴をつかみにくい子どもやグレーゾーンの子供を中心に、幼児期から思春期において、これは特に大切だという子育てのポイントをお話していただきます。健常児の子育てにもつながること、育ちの中で何が大切なのか、...、そのような話も飛び出します。

応募締切 / 1月16日(金)

申込方法 / 郵便局の払込書にて、下記口座に振込を。受領証を聴講券とします。当日受付に提示ください。定員になり次第締切。

郵便振替口座 00870-0-124326
加入者名 佐々木正美先生講演実行委員会
問い合わせ先 / 度会郡御園村高向682 風の広場
Tel.&Fax.0596-29-0325
(AM12:30~PM2:00 PM5:30~PM6:30)

〇〇〇〇〇 平成15年度第1次体力づくり運動指導者講習会 チュックボール指導者養成講座

とき / 平成16年1月25日(日)受付AM9:00
AM9:30~PM3:30
ところ / 津市体育館(津市本町31-1)
参加費 / 900円(保険代、テキスト代を含む) 普及審判員の資格取得希望者は受講料などの費用として、3000円が必要です。
内容 / チュックボールとは弾力のあるネットにボールをシュートしあうゲームです。ハンドボールにもよく似ていますが、シュートをしただけでは得点にはなりません。フランス語でボールがネットに当たる時の音が「チュック」と聞こえることから名付けられました。この講座では生涯楽しめるチュックボールのルール、技術、大会運営方法などの習得およびニュースポーツの体験をするとともに指導者としての資質の向上を図ることを目的としています。
持ち物 / 筆記用具、トレーニングウェア、体育館シューズ。
募集人数 / 80人(先着順。定員になり次第、締切)
応募締切 / 1月9日(金)
申込方法 / 申込書をハガキに貼付して郵送するか、Faxにて。
申込・問い合わせ先 / 514-0002 津市島崎町3-1 三重県島崎会館2階 三重県レクリエーション協会内体力づくり運動指導者講習会(チュックボール養成講座)担当
Tel.&Fax.059-246-9800

まちのファンクラブ1月交流会

～新春！多度まちづくり談議～

とき / 平成16年1月27日(月)PM6:30~
ところ / 「大黒屋」本店(桑名郡多度町柚井)
参加費 / 会員300円、一般500円
内容 / まちのファンクラブは桑名・員弁地域でまちづくりをしているいろいろな団体を訪ねて、毎月一回交流会をひらいています。市民活動に関心のある人たち100名ほどのネットワークです。今回は多度町を訪れ、車の通う往来とは別世界の「大黒屋」さんの奥座敷や日本庭園を堪能しつつ、ゆっくりとした時間の流れる中で、多度の歴史や自然の恵み、暮らしなど、多度の奥深さを感じていただき、大いにまちづくり談議に花を咲かせていただきたいと思います。みなさま、どうぞご参加ください！
主催・問い合わせ先 / 511-0068 桑名市中央町1-8-2階
まちのファンクラブ Tel.0594-27-2700(平日PM1:00~PM3:00) E-mail fanclub@mie-kita.gr.jp
ホームページ http://www.mie-kita.gr.jp/machifan/

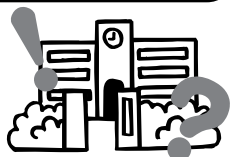
二胡 ふるさと愛の調べ

とき / 平成16年2月1日(日)開演PM2:00
ところ / 津リージョンプラザ
参加費 / 一般前売2000円 当日2500円
高校生以下前売1000円 当日1500円
内容 / 梁天任さんによる二胡と、蔡朱蕾さんによる古箏の演奏会。日本四季メドレー、川の流れるように、シルクロードなどを演奏します。主催はジャパン、コリア、チャイナ、アジア近隣諸国の草の根友好親善を願うNPO法人JKC-artです。
申込・問い合わせ先 / 514-0027 津市大門7-15 津センターバレス3階 市民活動オフィス内 NPO法人JKC-art
Tel.090-4084-1370 E-mail kouho@zvtv.ne.jp
ホームページ http://www.zvtv.ne.jp/kouho

「学校に行く、行かない…誰が決めるの？」

＝アドラー心理学に基づいて教育、不登校を考える＝

とき / 平成16年2月7日(土)
PM1:00~PM4:00
ところ / アスト津3階 情報イベント
コーナー (津市羽所町700)
参加費 / 2000円



内容 / 子どもたちにどんな大人になってほしいのか、自分の人生を自分の力で生きていけるような援助を大人がどう持てばいいだろう...。「教育」を考える時、どんなふうに考えますか？私たち大人は社会において子どもたちの教育に深い関わりを持っているという責任を果たす必要があります。不登校と教育をテーマにアドラー心理学に基づいた岸見さんのお話を聴いて一緒に考えてみませんか？

申込方法 / 郵便振替にて参加費を支払ってください。受領証を参加票としますので当日お持ちください。

加入者名 特定非営利活動法人 三重にフリースクールを作る会
口座番号 00840-6-86689

申込・問い合わせ先 / NPO法人「三重にフリースクールを作る会」(担当:田口) Tel.059-213-1115

三重アドラー心理学研究会(担当:松田) Tel.05978-9-5813

名張市市民活動率先協働事業・子育て支援公開講座

「子育て、おとこせんせいやってます！」

とき / 平成16年2月8日(日)PM2:00~PM4:00
ところ / 名張産業振興センター(アスピア)
内容 / 神戸市葺合保育所保育士、ひょうご男性保育者連絡会会長、日本笑い学会理事である原坂一郎さんを招いて、男性保育士の立場から、また父親の立場から、社会ニーズに対応する子育て支援のあり方や行政と子育て支援団体との関わりなどについて講演していただきます。なお託児は先着順で、定員20人。一人につき100円で行きます。

募集人数 / 100人 申込方法 / 郵送、Fax、E-mailで下記へ。
主催・申込・問い合わせ先 / 518-0471 名張市百合が丘東1-15 名張百合が丘郵便局止め 保育ボランティアおひさまクラブ ぽかぽか 岩本和子宛 Tel.0595-64-6415 Fax.0595-62-1166 E-mail hoiku-pokapoka@mail.goo.ne.jp

ひとりで遊ぶよりみんなで遊ぼう！子ども体験まつり

とき / 平成16年2月15日(日)AM10:00~PM3:00
ところ / 四日市市川島地区市民センター
参加費 / 無料(会場内ではまつり通貨を使います)
内容 / 四日市まんなか子ども劇場は、子どもたちが体験を積み重ねて、心身ともに豊かに育つように活動を展開しています。今回は、ひとりでできない遊び体験や、生の文化芸術体験を通して、子どもから大人まで異年齢交流し、子どもが身体も心もフルに使って、他者との間に共感が生まれるよう子ども体験まつりを行います。
【プログラム】
絵本読み語り、こま回し、笛を使った音遊び、ママさん落語、大型紙芝居、オリジナルバージョン伊勢ヤートコセ(中高生指導)、大縄跳び、しゃぼんだま、手作り楽器、アートバルーン、指編み、電気の実験コーナーほか。軽食もあります。
申込・問い合わせ先 / 四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.0593-51-6670(開局日:火~土曜 AM10:00~PM5:00) E-mail mannaka@m4.cty-net.ne.jp

伊賀上野地震、安政東海・南海地震から150年、東南海・南海地震から60年 地震に関するセミナー～三重県の今後の地震防災を考える～

とき / 平成16年2月6日(金)開場正午 PM1:00~PM4:20
ところ / 三重県総合文化センター中ホール
(津市一身田上津部田1234) 参加費 / 無料
内容 / 文部科学省、三重県では、三重県とその周辺の地震活動の特徴、地震調査研究の最新の成果、及び防災対策などについて、一般の方々及び防災関係者に理解を深めていただき、防災意識の高揚や具体的な防災対策に有機的に結びつけることを目的としてセミナーを開催します。
【プログラム】

「東海・東南海・南海地震は近づいているのか？」安藤雅孝さん(名古屋大学大学院環境学研究科教授)
「東海・東南海・南海地震津波～津波避難と地域防災～」今村文彦さん(東北大学大学院工学研究科教授)
「三重の活断層と直下地震への備え方」鈴木康弘さん(愛知県立大学情報科学部助教授)

募集人数 / 800人(先着順)
応募締切 / 平成16年1月30日(金)
申込方法 / 申込書をFaxするか、ハガキまたはE-mailにて、氏名、住所、電話、Fax番号、及び「地震に関するセミナー参加希望」と明記

し、下記まで送付。

申込・問い合わせ先 / 514-8570 津市広明町13番地 地域振興部地震対策チーム Tel.059-224-2184
Fax.059-224-2199 E-mail jishin@pref.mie.jp

ネットワークのよびかけ

三重県発 無償の地図を使ったコンピュータシステム

三重県(業務プロセス革新チーム)では、地図を使ったコンピュータシステム(GIS:地理情報システム)の整備活用を進めております。GISは、コンピュータの画面に表示された身近な地域の地図の上に、活動情報や調査情報などを簡単に登録することができる仕組みになっております。県庁内では事務事業の効率化を進めるためGISを利用しているところですが、NPO・ボランティアの方々や県民の皆様にも地域活動や趣味などの情報を簡単に活用いただけるよう、本年10月24日からインターネット上で簡易なGIS「M-GIS(エムジーアイエス)」の無償提供を開始いたしました。このM-GISはマイクロソフト社のWindowsパソコンで利用できるシステムで、すでに1200名(11/20現在)を超える方々がユーザとして登録され、利用されております。下記のホームページからユーザ登録したあと、無償でダウンロードできますので、NPO・ボランティアの皆様の活動や取り組みの道具(ツール)として利用していただければと思います。ご紹介します。

<https://www.m-gis.pref.mie.jp/mgis/>

上記、ホームページにM-GISの活用事例も掲載していますので、是非、ご覧ください。

問い合わせ先 / 三重県地域振興部業務プロセス革新チーム
GIS担当 Tel.059-224-2623 Fax.059-224-2207
E-mail m-gis@pref.mie.jp

「ヘルシーピープルみえ・21の歌」をみんなで歌ってみませんか?

三重県では県民の皆さんととりわけ子どもたちに「健康づくりの大切さ」を知ってもらうため、ヘルシーピープルみえ・21(三重の健康づくり総合計画)のPRソングをつくりました。作詞作曲は県職員の有志が担当し、歌唱は津児童合唱団にお願いしました。この歌の入ったCD、カセットテープを、学校、保育園、老人クラブ、子ども会など地域の活動に活用いただける団体に無料でお配りしています。くわしくは下記までお問い合わせください。なお、この歌は「ヘルシーピープルみえ・21」のホームページでも紹介しています。

問い合わせ先 / 健康づくりチーム Tel.059-224-2294
ホームページ <http://walk.to/hpm21>

「川のワークショップみえ」発表団体・個人募集中!

川のワークショップは、市民(団体)と行政がそれぞれに取り組んでいる川での活動や事業を募集し、公開で発表、評価し、「いい川」の具体像を見つめだそうとする試みです。現在、発表者を募集中。

とき / 平成16年2月15日(日)AM9:30~PM5:00

ところ / 三重県庁講堂

申込・問い合わせ先 / 514-0009 津市羽所町700アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター 気付 私書箱4号 川づくり会議みえ Fax.059-222-5971

E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp

不動産の無料相談を承りますNPO法人の皆様へ

活動の基盤となる土地や建物に関する諸問題を私達と一緒に解決しませんか?

土地や建物には様々な利用方法がありそこには権利・利益が付着いたします。ある時にはそれが対立して問題を起こします。現在NPO法人の皆様が活用されている不動産、また今後活用予定の不動産について、当NPO法人は皆様の土地・建物についての様々な問題や土地建物のコンサルティング、有効活用など不動産に関するさまざまなご相談を無料で承ります。当NPO法人は国土交通省認定の不動産コンサルティング技能登録者免許を持つ県内在住の個人と、不動産コンサルティングに関心のある方々の賛助をいただき活動してお

ります。県内北勢地区中勢地区そして南勢地区と多方面に当NPO法人の会員は活躍しています。県内NPO法人に關与する個人、法人を問わず又地域を問わず気軽にご相談を頂ければ当NPO法人にとっても友好的な協働事業と成ってまいります。

なお当NPO法人の活動内容についての詳細は下記のホームページをご覧ください。

NPO法人 三重県不動産コンサルティング協会
ホームページ <http://www.mie-consul.or.jp>

フリーマーケット情報

フリーマーケットin四日市ドームVOL.13

とき / 平成16年2月22日(日)

AM10:00~PM4:00

ところ / 四日市ドーム

(四日市市大字羽津甲5169)

入場料 / 当日500円 前売300円

(小学生以下無料)

内容 / リサイクルをテーマに市民参加型によるリサイクル品販売イベントを実施し、生活レベルの身近な環境問題の啓発に努めると共に、地域の人々との世代間の交流を深め、まちの活性化に寄与することを目的に開催します。

申込・問い合わせ先 / 510-0071 四日市市西浦1-2-17

NPO法人MFA Tel.0593-55-2939

Fax.0593-55-2959 共催 / FM三重



会場の様子。

みなさんへのお知らせ

【NPOチームからのお知らせ】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は6団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPOチーム及び各県民局生活環境部に備え置いております。

認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
- (1)東紀州ITコミュニティ(2)牧野広治(3)北牟婁郡紀伊長島町東長島416番地の23/(1)ウイミンよっかいち(2)稲毛由美子(3)四日市市中部58番地
- (1)はあぶ工房Together(2)坂井真佐子(3)桑名市大字西方702番地3
- (1)海虹路(エコロ)(2)池田比早子(3)尾鷲市中井町7番24号
- (1)市民生活向上委員会(2)野口末男(3)上野市朝日ヶ丘町193番地
- (1)四日市清港会(2)小菅弘正(3)四日市市千歳町9番地の1
- (1)広河隆一・核・平和写真展開催を支援する会(2)稲地聖一(3)津市大門7番15号 津センターパレス3階
- (1)エンカレッジ(2)松井文子(3)志摩郡志摩町和具706番地1

(平成15年11月16日~平成15年12月12日申請分)

成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

特定非営利活動法人 四日市ウェルネスクラブ(平成15年6月11日)

特定非営利活動法人 NPOすずらん(平成15年10月29日)

特定非営利活動法人 つつじ(平成15年11月18日)

特定非営利活動法人 みえ治療医療ネット(平成15年11月12日)

特定非営利活動法人 いなべフットボールクラブ(平成15年11月25日)

特定非営利活動法人 ハートバランス研究所(平成15年12月2日)

(平成15年11月16日~平成15年12月12日届出分)

助成金 ニュース

三重県 人と人との共生・安全安心のまち形成事業費補助金

受付締切 / 平成16年1月30日(金)

助成の対象となる団体 / 団体であればいずれでも申請できます。(1団体につき1件の申請に限りです)

助成の対象となる活動 / 1.犯罪が発生しにくいまちづくりに関する活動

トロールや盗難防止講座の開催、情報誌の発行など)
2.原則として2年以上継続して活動する見込みがあること
助成の額 / 1件あたり上限10万円(補助率1 / 2以内)。10件程度。
応募方法 / 申請書をホームページからダウンロードし、問い合わせ先まで、
郵送又は持参してください。
問い合わせ先 / 生活部経営企画チーム安全安心まちづくりグループ
514-8570 津市広明町13 Tel.059-224-2664 Fax.059-
224-3069 E-mail anzen@pref.mie.jp
ホームページ http://www.pref.mie.jp/D1SEIKA/top.htm
.....

平成16年度第1期 セブン-イレブンみどりの基金 環境市民ボランティア活動助成制度物品助成

受付締切 / 平成16年1月9日(金)消印有効
助成の対象となる団体 / 日本国内において「環境」を主テーマとして活動
している下記のいずれかに当てはまる団体。
(1)環境市民ボランティア団体(行政、社団法人、財団法人、自治会、また観光
協会や商店会等の団体、またはこれらの団体が主導するボランティア活動に
ついては対象になりません)
(2)環境の保全を図る活動目的として申請認証されている特定非営利活
動法人(NPO法人)
助成物品 / キヤノン・インクジェットプリンター(Canon BJC-35vll
「COLOR BUBBLE JET PRINTER」・中古) メーカーの無償保証の対
象ではありません。
応募方法 / ハガキ、Fax、E-mailにて、下記の事項を明記して申込みして
ください。(1)団体名、(2)代表者氏名、(3)郵便番号、(4)住所、(5)電話番号、
(6)Fax番号、(7)E-mailアドレス(お持ちでしたら、団体ホームページア
ドレスもお書きください)(8)使用されているパソコンのOS、(9)セブン-イレ
ブンみどりの基金に対する要望、助成制度に対するご意見などご自由にお書
きください。
問い合わせ先 / セブン-イレブンみどりの基金環境市民ボランティア活動
助成事務局・物品助成係(担当:富松) 105-0013 東京都港区浜松町
1-27-9 新浜松町ビル6階 Tel.03-5733-2526
Fax.03-3435-1065 E-mail oubo1@7midori.org
ホームページ http://www.7midori.org
.....

三菱財団社会福祉事業並びに研究助成

受付締切 / 平成16年1月13日(火)期間内必着
助成の対象となる団体 / 日本国内において事業ないし研究の継続的拠
点を有する者(国籍等は不問)
助成の対象となる活動 / 現行制度上、公の援助を受け難い、開拓的ないし
実験的な社会福祉を目的とする民間の事業(原則として法人に限る)
開拓的ないし実験的な社会福祉に関する科学的調査研究(個人・法人等い
ずれも可)
対象事業の期間 / 1年を原則としますが、必要やむを得ぬ場合、「2か年継
続」を認められます。(2か年度分の助成申込を一括査定、助成金は2か年で
使用)
助成の額 / 総額約9000万円を予定。1件宛の金額は特に定めなし。(採
択予定件数約30件程度)
応募方法 / 申込書は原則としてホームページからダウンロードしたものを使
用。別に当方より本件助成周知宛既に送付済のもの、あるいはそのコピー
を使用いただいても結構です。上記のいずれの方法も利用できない場合は、
下記まで「宛先記入済の返信用角2(A4サイズ)封筒に、140円切手貼付」
の上、郵送で請求してください。申込書の提出は郵送で行ってください。
問い合わせ先 / (財)三菱財団事務局 100-0005 東京都千代田区
丸の内2丁目5番2号三菱ビル15階
Tel.03-3214-5754 Fax.03-3215-7168
ホームページ http://www.mitsubishi-zaidan.or.jp
.....

社会福祉事業研究開発基金

受付締切 / 平成16年1月15日(木)必着
【一般助成】
助成の対象となる団体 / 社会福祉に関する民間の企業で、先駆的・開発的
活動研究に従事する個人および団体で原則として次の条件を具備するもの。
(1)具体的で応用可能な内容を有する企画で、その実施期間が1年間程度
であること。(2)公的補助もしくは他の民間機関からの助成と重複しないこと。
助成の額 / 総額500万円。1件あたり上限100万円
【特別助成】

助成の対象となる団体 / 原則として国内に存在する社会福祉法人、NPO
法人、ボランティア団体など、公益活動を行っている団体で社会的信用を有
し、継続的な活動実績があること。公的補助もしくは他の民間機関からの助成
と重複しないことなど。
助成の対象となる活動 / 日本国内において、対応が急務となっている下記
社会的課題に関する民間の支援事業を対象とする。(実施期間が概ね1年程
度であること)
(1)精神障害者に関する支援事業
(2)児童虐待防止に関する支援事業
(3)ホームレス問題に関する支援事業
(4)保護更正の活動に関する支援事業
助成の額 / 総額4000万円。1件あたり上限100万円
応募方法 / 三重県社会福祉協議会に配布されている申込書類に従って
応募。特別助成の場合は三重県社会福祉協議会の推薦状も必要です。なお、
申込書類の郵送を希望する場合は返信用封筒(定型縦型・120円切手貼
付)を同封のうえ、下記まで郵送で申込んでください。
問い合わせ先 / 社会福祉法人社会福祉事業研究開発基金助成申込係
107-8645 東京都港区北青山2-11-3 青山プラザビル内 住友信託
銀行株式会社年金信託部業務企画チーム気付(担当:和田)
Tel.03-3497-1408 Fax.03-3497-5198
.....

(財)安田生命クオリティオブライフ文化財団 地域の伝統文化分野保存維持費用助成

受付締切 / 平成16年1月31日(土)消印有効
助成の目的 / わが国において、古来地域に伝承されてきた民族の遺産と
も言える固有の伝統的な文化が時代とともに消滅しつつある現在、こうした歴
史的・文化的に価値ある地域の民俗芸能(民俗行事、民俗音楽を含む。以下
同じ)、伝統的生活技術(民具製作技術、伝統工芸を含む。以下同じ)等を正
しく後世に残すことが時代の責務であるとの考えに立って、当財団は、これら
の継承のための諸活動、とくに後継者育成に必要な技能修得のための諸活
動への支援を行います。
助成の対象 / (1)地域の民俗芸能、(2)伝統的生活技術、それぞれの
継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体。
助成の額 / 「民俗芸能」は1件につき70万円を、「伝統的生活技術」は1件
につき40万円を、それぞれ限度とし、申込内容を検討の上、具体的な助成金
額を決定します。
応募方法 / 申込に際しては、市町村教育委員会、公立博物館、学識経験者
等からの推薦ならびに県教育委員会または知事部局の文化関係課・文化財
関係所管課のコメントと捺印を受けてください。書類は原則として郵送。でき
る限り、簡易書留便で送付。申込書はホームページからダウンロードするか、A4
版サイズの用紙が入る封筒に120円切手を貼付の上、下記まで請求。
問い合わせ先 / (財)安田生命クオリティオブライフ文化財団
160-0023 東京都新宿区西新宿1-10-1 MY新宿第二ビル
Tel.03-3349-6194 Fax.03-3345-6388
ホームページ http://www.yasuda-qol-bunka.or.jp/
当財団は平成16年1月初旬より名称が「明治安田クオリティオブライフ文
化財団」に変更されます。これに伴い、ホームページのURLも1月下旬頃に変
更されますので、ご注意ください。
.....

米日財団 日米相互理解プロジェクト助成 (コミュニケーション / 世論)

受付締切 / 2月
助成の対象となる団体 / 無制限です。海外日本人、在日外国人、海外外国
人も応募できます。ただし、個人や営利団体は対象外です。
助成の対象となる活動 / コミュニケーション / 世論:日米両国民の相互理
解のため、メディア、非営利団体、世論調査、またオピニオン・リーダーなどの
各分野におけるさまざまなプロジェクトを通じ、人物、情報、アイデアを交換す
る機会を提供するもの。
応募方法 / 直接、財団に申請してください。専用の申請用紙はありません。
問い合わせ先 / 米日財団 107-0052 東京都港区赤坂1-14-2
豊南坂ビル1階 Tel.03-3586-0541 Fax.03-3586-1128
ホームページ http://www.us-jf.org

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報
を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報
は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。
(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ http://www.jfc.or.jp/

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。横山ビクターセンターの西岡さんからバトンが渡ったのは自然観察指導員の木原寿代さん。お勤めを早期退職し、「自分のやりたいこと」に邁進中の日々を送られています。

自然観察指導員って?!

.....木原さんが自然に興味を持ったきっかけは?

私は美杉村の多気で生まれた山育ち。子どもの頃に山や川で遊んだ経験が大きいかな。今のような活動を始める直接のきっかけになったのは20歳代後半からに熱中した山登り。そこで藤原岳自然探査会の会長さんに会って、「探査会に入らない?」と誘われました。探査会に入り、山歩きだけでなく、自然観察会を始めたのですが、これが楽しくて毎月、藤原町まで行っていました。この集まりは藤原岳自然科学館を拠点に、たくさんの方が集まってきて、ここでは自然科学系でご活躍して見える方々にもお会いできました。ここが私の活動の原点です。1987年に藤原町で三重県で初めての自然観察指導員の講習会が開かれるのを知りました。

.....自然観察指導員と聞くと難しそうなイメージがありますが、具体的にどんなことをするのですか?

名前がいかにめいめいのね。(笑)自然観察指導員というのは日本自然保護協会が2泊3日の講習会を行って資格認定しているのですが協会の名前の通り、理念は自然保護です。今ある自然をこれ以上悪化させないことは、私たちの世代の責務だと思います。それには自然観察会を始まりとして、まず自然に親しむことから自然の仕組みを知る。自然観察を通して気づいたことをもとに各地域で活動していく人を広げて行こうということなのです。

.....保護する自然とは。具体的に教えてください。

絶滅しそうな、貴重な自然もありますよね。それも大切ですが、自分が住む地域に目を向けて、皆が知らない間に開発されて、昨日あった自然がなくなってしまうということが未だにありますよね。そんな悲惨な事にならないためにも、普段から観察会を通じて地域の自然も大切だと皆さんに知っていただくことです。

.....自然保護イコール開発に抵抗ではないのでしょうか?

この問題は社会の仕組みに問題があると思います。これからは開発するのであれば、その計画の段階から話の中に住民も加わることが大原則でしょう。住民が徒労に終わるような空しい思いをしないためにも双方がもっと話し合いを持つべきだと思います。それと人も

自然の一員であって自然が無しでは生きて行けないという正しい知識をもつ事だと思います。

.....自然観察指導員になるにはどうすればいいのですか?

各県で開催される2泊3日の講習会を受けてもらいます。三重県でもここ3年続きで行われました。今年は9月に浜島町の合歓の郷で行われました。県外で受ける場合は日本自然保護協会に、県内では県の環境部の人と自然の共生チームに申込みます。一回の講習会の定員は60名です。

.....やはり自然の知識や興味のある方が受けるのでしょうか?

参加者の想いはそれぞれですね。でも朝早くから夜は10時までびっしり講義のある、ある意味体力の必要な講習会を受けに来られるだけあって皆さん、自然に対する意識は普通の方より高いです。

松名瀬干潟ウォッチング

.....講習会を終えた後はどこかのグループに所属するのですか? 全員が入るわけではありませんが、自然観察指導員三重連絡会に所属します。現在、会員数は約200名です。残念ながら活動されている方は少ないように思います。まあ、いろんな分野で活躍していただければ良いと思いますが。

.....どうして活動につながらないのでしょうか?

講習会を受けた後のフォローアップの問題もあると思います。講習会を受けたから終わりではなく、各方面がフォローしていく事は大事です。

.....自然観察会が開けるようになるには?

2泊3日の講習会を受けたからすぐにはなかなかできませんよね。講習会では講師の方が名前は知らなくても出来るといわれますが、私は現実にはそう甘くないと自分の体験から思いました。実際、観察会をしたら参加者の方は盛んに名前を知りたいがります。名前を覚える事は人の名前を覚える事と同じと思っています。名前を知ればより親しみをもちますよね。自信をつけるためにはとにかくフィールドに足しげく通うことだと思います。それと先輩の観察会にどんどん参加して良い面、悪い面を観察してくる事だと思います。自然観察に関連するような勉強会はどんどん参加するのがいいですね。

.....木原さん自身は地元で自然観察会を開催しているのですか? 松名瀬海岸をフィールドに「松名瀬干潟ウォッチング」という観察会を行っています。1997年から始めました。最初はたくさんの方に助けていただきました。観察会を続けるうち海の楽しさを知りました。「わあ、干潟ってこんなに楽しいのか」って。私は山育ちなので海のことは全然知らなかったの。

.....どんなところが楽しかったのですか?

松名瀬海岸って人工物が多くて、ゴミもいっぱいでは汚いというイメージがありました。でも実際観察会を始めると干潟にはたくさんの生き物がいて、その生き物がお互い関連しあって、干潟の自然を保っているのを知りました。

.....関連しあっているとは?

食物連鎖ですね。大きな自然環境の中から見れば魚や貝、カニを食べる事は海を浄化していることになるのです。人が流した汚水は川から海に出て生き物の栄養分になります。その生き物を人間が食べる事でその栄養分をまた陸に上げて海を浄化する事になるので



後ろに積んであるのは、松名瀬海岸で拾った空き缶です。

す。すべてがつながっている事がわかれば人間も自然の一員だと理解できます。

.....それを実感するために必要な事はなんでしょう?

自然の中での体験はとても大切です。体験をする中で人と自然の橋渡し役がいるのです。感動を分かち合ったり、正しい知識を教えようとするのです。

.....年に何回くらい開催しているのですか?

今年は5回くらい。最初は結構回数が多かったのですが、最近は県民デーに参加したり、公民館活動として「観察会をして欲しい」とたのまれた時などに行っています。

.....参加者は大人が多いですか?

いろいろです。どちらかというと親子で参加が多いですね。

誰でも最初の一步はなかなか踏み出せないですよ。その気持ちは良くわかります。

.....最近の活動は?

この前の観察会では干潟の生き物観察と海岸に打ち上げられた空き缶の調査をしました。大人と子ども16名で30分間拾って825本集まりました。それを2月に三重こどもの城で展示しようと思っています。同時に空き缶の数が多かったメーカーには提言しようと思っています。もし返事がもらえたらそれも展示しようかなって。

退職して、やりたいことに専念

.....木原さんは現在、自然観察指導員三重連絡会のなにをされているのですか?

運営委員で観察会や研修会の企画係りをしています。3年ほど前に仕事を退職しましたので、平日の昼間動けるのがいいですね。

.....早期退職されたのは、ご自分の活動に専念したかったから? 私は49歳で退職したのですが、そのきっかけになったのが新聞に掲載されていた元環境省の方の文章でした。そこには「人生三分割」25歳までは修行の時代、50歳までは家族や社会のために尽くす時代。50歳からは自分のしたかった事をやる時代と書いてあって「素晴らしいなあ、私もやりたい」と思いました。息子も社会に巣立ったし実行しましたよ。その方とは全然レベルが違いますけどね。(笑)仕事を辞めて一番嬉しかったのは天気の良い平日の昼間、野山を歩けること。涙が出るくらい嬉しかったです(笑)。あのね、平日の昼間って山に行っても、美味しいものを食べに行っても、どこにでも同じ年位の女性がいるの。みんなでワイワイと楽しそうだね。それを見ていると女性は長生きするなって思いますよ(笑)。

.....仕事を辞めて専念するなんてすごい意気込みですね。仲間には「すごい行動力」と言われて困っています(苦笑)。私とし



自然観察指導員三重連絡会主催の自然観察会。鈴鹿市白子の浜で地引き網を行いました。

ては、大したことはしてないのにね。じっとしていれば良いのですが動き回るので目立つのでしょうね(笑)。連絡会が活発になるためにも、所属している自然観察指導員の皆さんには最初の一步を恐れないで踏み出してほしいですね。

.....その一步が難しいのでは?

誰でも最初の一步はなかなか踏み出せないですよ。その気持ちは良くわかります。私は事務局の橋本さんはじめよい先輩、仲間に恵まれてここまで来ましたが、今度は少しでも役に立てれば良いかなと思っています。多くの方に会の運営に関わっていただけたら嬉しいですね。そうそう、新しく指導員になられた中にご自分のホームページをお持ちの方が見えたので早速、連絡会のホームページの作成をお願いしましたよ(笑)。もうすぐ自然観察指導員三重連絡会のホームページも公開されますよ。

.....企画係としてどんな活動していますか?

やはり自然観察会を開く事が大切だと思いますので、今年は連絡会として各地域6カ所の指導員の方をお願いして自然観察会を行いました。今年は特に海に力を入れました。海岸線が長い三重県ですからもっと海のことに興味を向けてもらいたいと思ひまして。海は山や川の終着駅でもあるのですから。来年は川をテーマに、再来年は森をテーマに持って来るつもりです。研修会は実際に海でお仕事されている漁師の方から見た海の世界などについてお話をうかがいます。

.....手ごたえはありましたか?

観察会に人が来て頂けるのは嬉しいですね。それに「楽しかった」といわれるのも嬉しい。海は意外と皆さんなじみが無いんですよ。海を知らなかった人が参加して感動されるととっても嬉しいです。今度も頑張ろうってね(笑)。

.....最後に木原さんのモットーを教えてくださいませんか?

「議論より実践」でしょうか。私の活動には2つのテーマを持っています。一つは自然観察会を通して未来をにう子どもたちに自然の楽しさ不思議さを体験してもらうこと。体験を通して正しい知識を持ってもらうこと。もう一つは荒れた森の再生です。グリーンボランティアとして間伐作業をしています。森林の議論してる時間があつたら山に入って間伐しているほうです(笑)。

住所 / 515-0072 松阪市内五曲町34-8

Tel.&Fax. 0598-23-0856

E-mail hisayo@mctv.ne.jp

木原寿代さんはこの人を紹介します。

松井まつみさん

尾鷲市のまちおこしグループ「天満浦百人会」の代表のほか、子どもたちの居場所づくりや紙芝居披露、高齢者の福祉活動など、多分野に渡って活動されています。

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までにお送りください。

(2)送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpa@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPOチームに連絡してください。

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。



松名瀬干潟ウォッチング。